

選挙公報掲載文

| | | | | | |
|---|------|---|---|---|---|
| ※ | 受付日時 | 月 | 日 | 時 | 分 |
|---|------|---|---|---|---|

無所属 秀樹

おおばの決意

大震災から12年。福島県は復興への道を進んでいます。しかし、相次ぐ災害、コロナ禍、物価高騰と、度重なる逆風は県民の暮らしに大きな影響を及ぼしています。また、若年層の流出による人口減少、経済活動への支援、介護・医療の人材確保、農林業の振興、子どもたちの教育など、本県には克服すべき多くの課題が存在します。その解決のために、おおば秀樹は一歩一歩、ひとつづつ着実に前に進めて参ります。

- 現職**
- 福島県議会 県民連合議員会 政策調査副会長
 - NPO法人 子ども未来クラブ 理事長
 - 福島市消防団 第16分団 機関員
 - UAゼンセン福島県支部 政治顧問
 - (公社)福島県私学振興会 理事
 - FMボコ ラジオパーソナリティ
 - 吉井田地区体育協会 会長

- 略歴**
- 昭和44年11月7日生まれ 53歳
 - 駒沢大学大学院経営学修士課程修了
 - 松下政経塾員 ●福島市議会議員
 - 参議院議員金子恵美 公設第一秘書
 - 福島リハビリライオンズクラブ会長
- 家族**
- 妻・康子 (旧姓 上野) 福島市出身 (済生会福島総合病院 薬剤師)

教育・人づくり

子どもたちの心のケアのためにスクールカウンセラー相談体制の充実、学力向上と教員多忙化解消への取組、学校図書館の充実など子どもたちが元気に学べる環境づくりに努めます。また、故郷の歴史や地理を学ぶ「地元学」を推進し福島の誇りを守ります。

観光・農業立県

フルーツラインの充実による「ブランド化」と飯坂・土湯・高湯温泉を融合させて「ふくしまの魅力と実の力」として全国に発信します。福島が修学旅行や海外からの旅行先となる「観光立県」を目指します。

福祉・医療の再構築

新型コロナや大災害に対応できる地域医療の充実に努めます。医師・看護師・リハビリスタッフなどの医療従事者を確保し、介護の担い手育成や継続従事に力を入れます。発達障がい児や認知症の方を支援する仕組みを充実させます。

STOP!! 物価高

注意 一、氏名欄に記載し、又は記録する候補者の氏名は、当該選挙の選挙長の認定した通称があるときは、その通称を記載し、又は記録すること。
二、※印の欄については、候補者は記載しない、又は記録しないこと。

| | |
|-------------|--------|
| 選挙区名 | |
| 候補者の氏名 | |
| 連絡の場所及び電話番号 | 電話 () |